

# 平成21年度当初予算の概要

平成21年度予算が、平成21年第1回町議会定例会で決決して、一般会計など6つの会計が執行されることとなりました。平成21年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

東川町の平成21年度予算は、一般会計が44億5,600万円で前年度比較4億400万円、10.00%増、特別会計総額では5億8,739万円で前年度比較 7,701万円、11.59%減となり、一般会計と特別会計の合計では50億4,339万円(前年度比較3億2,699万円、6.93%増)となりました。

一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算  
 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

一般会計・特別会計当初予算額

会計区分	本年度	前年度	伸び率%
一般会計	4,456,000	4,052,000	10.00
特別会計(合計)	587,386	664,400	11.59
国民健康保険	255	200	27.50
簡易水道事業	41,800	40,000	4.50
公共下水道事業	182,700	150,900	21.07
国保町立診療所	344,000	407,500	15.58
宅地造成事業	18,631	65,800	71.69
総合計	5,043,386	4,716,400	6.93

単位:千円

## 一般会計における予算の特徴

平成21年度の当初予算は、44億5,600万円であり、平成20年度の予算額と比べますと、4億400万円、10.00%増となりました。

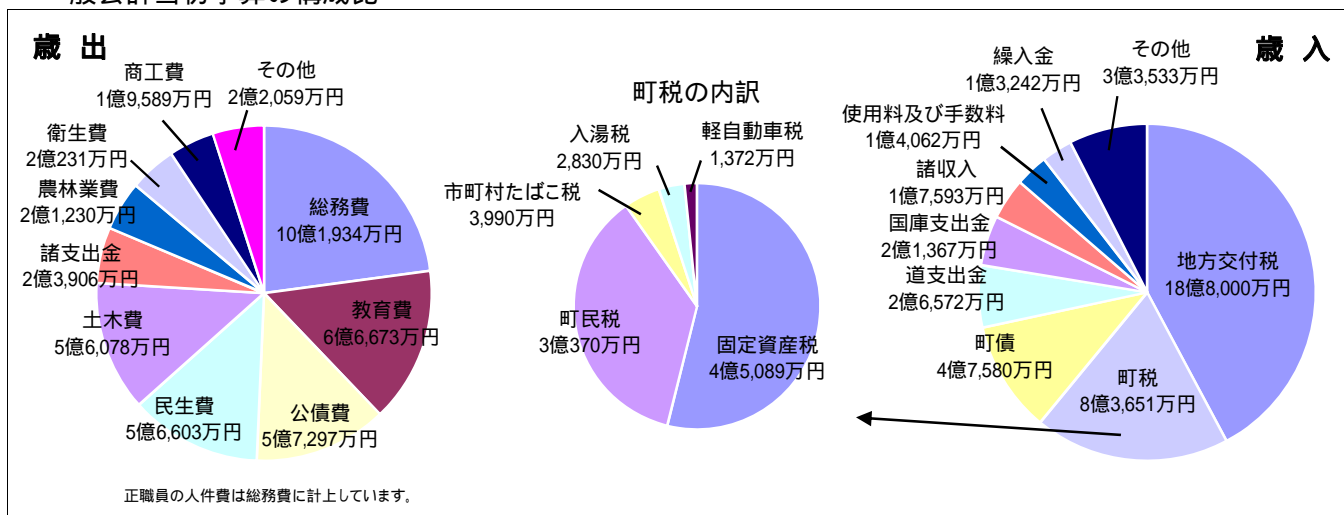
予算編成では、「新まちづくり計画プライムタウン21-1」の2年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることとし、「東川町新行財政改革大綱(自主・自立集中改革プラン)」による事業計画や事業の見直し・効率化を進め、財源確保に努めました。

地方交付税は、地方財政計画では1兆円の増額があるなど、2.7%の増となりました。本町における普通交付税の予算額は、平成20年度決定額と比較すると2,116万円、1.3%の増を見込んでいます。

投資的事業では、対前年比で2億3,200万円、38.23%増となったが、国・道補助金やその他財源の確保・交付税補てんのある起債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

また、ソフト事業では、国際交流事業の推進や少子・高齢化、母子保健事業の充実、英語教育の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

## 一般会計当初予算の構成比



## 平成21年度の子な投資事業

- 旭岳、天人峡地区インターネット整備事業 350万円
- 道道旭川旭岳温泉線歩道照明灯設置事業 3,360万円
- 第三地区地域センター外構整備事業 661万円
- ストリートギャラリー事業(写真展示用設備設置) 883万円
- 合併処理浄化槽設置整備事業 740万円
- ポケットパーク整備事業(1丁目道路) 4,856万円
- 地域用水機能増進事業(防火水槽設置) 3,623万円
- コミュニティーバス試験運行事業(空港-道草館-動物園) 585万円
- 天人峡天津橋架替事業(国補助、起債事業) 6,908万円
- 第3小学校屋外遊具、第2・3小学校暖房機設置 895万円
- 西10号道路改良事業(国補助、起債事業) 5,642万円
- 幼児センター増築工事 2億2,969万円
- 給食、いきいきセンター、キトウシ森林公園施設塗装事業 6,690万円
- (一時保育室・0歳児保育室・未満児プレイルーム整備他)
- 道道旭川旭岳温泉線沿道植栽事業 522万円
- 多目的広場整備事業(グリーンヴェレッジ) 5,317万円

# 東川町の財政を家計にたとえると...

平成21年度の町の予算は44億5,600万円(一般会計)となりましたが、「合計額のケタが大きくて実感がわかない。」、「財政用語が分かりにくい。」という声をよく耳にします。

そこで、家庭の家計と町の財政では仕組みが違いますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿で資料を作成してみました。

町の会計は、一般会計、特別会計に分けられていますが、ここでは平成21年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明したいと思います。

## 東川町の家計簿

(参考)  
昨年度数値

### 収入

給料(町税・地方交付税)	61万円
パート収入(使用料・手数料など)	9万円
親からの仕送り(国からの補助金など)	15万円
借金(町債)	11万円
貯金の解約(繰入金) 1	3万円
財産(土地や家)の貸付など(財産収入)	1万円
<b>合計</b>	<b>100万円</b>

家族全員の収入	73万円
家族全員の収入 + 親からの仕送り	90万円

1 貯金の残高は496万円あります(平成20年度末の貯金残高見込を100万円に置き換えた数字)

### 支出

食費(人件費)	18万円
家族の医療費(乳幼児医療費などの扶助費)	5万円
光熱水費、被服費、その他雑費(消耗品費・燃料費・通信運搬費など)	32万円
車や家具の修理代(維持補修費)	1万円
子供たちへの仕送り(特別会計への繰出金、広域連合への負担)	11万円
借金の返済(住宅ローンの返済などによる町債費)	213万円
家の増改築(公営住宅建設、道路整備など)	19万円
貸付金(貸付金)	1万円
<b>合計</b>	<b>100万円</b>

生活費67万円	70万円
生活費 + 借金返済	84万円
財産づくり	15万円
親戚などへの支援	1万円

2 借金の残額は1,171万円あります(平成20年度末の借金残高見込を100万円に置き換えた数字)

収入の柱は給料の61万円とパートの9万円、それと親からの仕送り15万円です。支出は日々の生活費として67万円、住宅ローンの返済などに13万円、家の増改築費に19万円かかっています。

### 資料 平成20年度末基金(貯金)と町債(借金)残高見込

基金	百万円	町債	百万円
一般会計		一般会計	
財政調整基金	365	建物(公営住宅除く)、道路の整備などに借りたもの	
減債基金	206	平成20年度末残高見込	2,251
公共施設整備基金	501	うち国の交付税で補てんされる金額	647
ふるさと創生事業基金	111	<b>差引残高(町が負担する額)</b>	<b>1,604</b>
地域振興基金	95	財源不足を補うために借りたもの(臨時財政対策債など)	
地域福祉基金	346	平成20年度末残高見込	1,503
写真の町文化基金	127	全額が国の交付税で補てん	1,467
未来を拓くみんなの夢基金	200	公営住宅の建設のため借りたもの(入居者の負担を基本)	
総合体育館建設基金	16	平成20年度末残高見込	1,462
「写真の町」ひがしかわ株主基金	10	特別会計	
<b>小計</b>	<b>1,977</b>	簡易水道事業分	530
土地開発基金	156	下水道事業分	931
備荒資金	78	診療所分	521
<b>一般会計合計</b>	<b>2,211</b>	宅地造成事業分	17
特別会計		うち国の交付税で補てんされる金額	922
公共下水、診療所	9	<b>差引残高(町と受益者の負担額)</b>	<b>1,077</b>